

資源循環センター リサイクルの森

運営ニュース

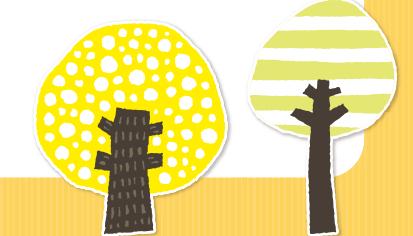
令和3年10月号



ごみ処理最前線、施設と働く人たち

可燃ごみ焼却施設

ごみを燃やしたときにできる熱を利用して発電、灰はセメント原料として100%リサイクル。エネルギーや資源を無駄なく利用するその仕組みを、施設を見学して理解しませんか。



可燃ごみ焼却施設運転情報



焼却量と発電量

	1号炉(t)	2号炉(t)	合計	発電電力量(MWh)
令和3年6月	2,101.52	2,081.54	4,183.06	1,966.53
令和3年7月	932.98	2,255.89	3,188.87	1,592.13
令和3年8月	2,270.73	2,273.80	4,544.53	2,112.19

ばい煙濃度

採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定濃度			
			ばいじん濃度(g/m³N)	窒素酸化物濃度(ppm)	塩化水素濃度(ppm)	硫黄酸化物濃度(ppm)
組合管理値			0.01	50	30	20
1号炉排ガス	令和3年8月4日	令和3年9月3日	0.001	14	<4	3
2号炉排ガス	令和3年8月4日	令和3年9月3日	0.001	33	<4	3

ご来場の際は、マスク着用・検温へのご協力をお願いいたします。

イベントなどのお知らせ

モノ・コトショップ

ご家庭で不要になったけれど、まだまだきれいで活躍しそうなモノをお持ちいただき、必要な方々に譲る不用品交換のお店を開催しています。
※詳細、開催日はホームページをご確認ください。

木の実・どんぐりで秋のオブジェ作り

開催日時 令和3年10月23日(土)

①午前の部 10:00～12:00

②午後の部 13:00～15:00

予約受付 令和3年10月22日(金)16:00まで

募集人数 ①②共に5グループ(最大25名程度)

※小学生以下は保護者同伴

定員になり次第締め切りとさせていただきますのでお早めに申込みください。

(株)くわなEサービス0594-87-5133まで。

同時開催 モノ・コトショップ 10:00～15:00

工場見学ツアー

月曜日から金曜日の9:30～16:00

1回90分程度で見学コースを回ります。

お1人から見学できますので電話でお気軽にお問合せください。



資源循環センター リサイクルの森 運営ニュース vol. 7 令和3年10月号

発行:(株)くわなEサービス

お問い合わせ先:(株)くわなEサービス 0594-87-5133

ホームページ:https://www.kwes-ebara.com



※(株)くわなEサービスは、リサイクルの森運営会社です。

リサイクルの森の各施設での仕事と
そこで働く人たちに聞く

今回は24時間365日、可燃ごみ処理をおこなっている

リサイクルの森 可燃ごみ焼却施設



可燃ごみ処理の流れ



1 収集車はごみ投入扉からごみピットにごみを投入します。



ストーク式焼却炉



3 投入されたごみは、ストーク式(火格子)焼却炉で燃やされます。1日87トン処理できる焼却炉が2炉あります。

ごみクレーン

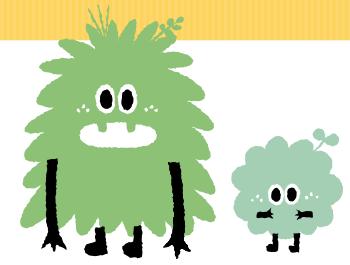
2 安定的に燃やすため、ごみはごみピットでクレーンにより均質に攪拌(かくはん)され焼却炉に投入します。

集じん装置・煙突

4 燃焼時に発生する排ガスは、集じん装置で有害物質を取り除き、きれいになった状態で高さ59mの煙突から大気に放出しています。排ガスには厳しい基準値を設定し管理しています。

蒸気タービン・発電機

5 燃焼排ガスの熱を回収し、高温・高圧の蒸気を作ります。その蒸気をタービン内の羽根車に当て高速回転させ、発電機にて電気を作っています。



可燃ごみ焼却施設 ECOな工夫例

ごみ発電により作られた電力は、当施設で使うすべての電力をまかない、余った電力は電力会社へ販売しています。



電気フォークリフト



電気自動車



施設内の給湯には、天然ガスなどの資源を消費することなく、ごみ発電と同様に、ごみを燃やして発生した熱を活用しています。

現場で働く作業員に聞きました! 2つの質問

Q1 現場で今思うことは?

24時間365日、ごみ処理を停滞させないため、現場にて業務に従事しています。おうち時間が増えている影響なのか、ごみ搬入量が増えているなか、ごみの減量や環境への持続可能な取り組みがもっと当たり前になるといいですね。

Q2 ごみを燃やして出た灰は…

灰には2種類あります。焼却炉から出る灰を「主灰」、ボイラや集じん装置などの排ガスから出る灰を「飛灰」といいます。主灰は灰ピットに貯められ、ダンプ車でセメント工場に。飛灰は主灰に比べて比重が軽く飛散しやすいため、密閉された飛灰貯留槽に貯められ、ジェットパッカー車(※)でセメント工場に運ばれます。

灰はすべてセメント原料の一部として、100%リサイクルされています。

(※)ジェットパッカー車 … 粉・粒状のものを専門に運ぶ自動車

ホームページは
こちらから



来て、見て、知って

「リサイクルの森」を見学して、ごみを減らすことへの理解を深めていただきたいと思います。施設見学・体験プログラムはホームページでご案内しています。ご確認の上、ぜひお越しください。

開催しました
夏休みイベント

ご参加いただきまして
ありがとうございました。

7月22日(木)体験プログラム

[午前の部]

牛乳パックで望遠鏡を作ろう
※外部講師による廃材を使った望遠鏡づくり

[午後の部]

施設見学クイズラリー
※通常の見学コースにはないプラスチック圧縮梱包施設を見学してクイズに挑戦



8月14日(土)体験プログラム

[午前の部]

ソーラーカーを作って走らせよう
※ソーラーカーキットを工作して試験走行

[午後の部]

施設見学クイズラリー
※通常の見学コースにはない可燃ごみプラットホームを見学してクイズに挑戦

